

議場で話し合われたあれこれ



一般質問ができるのは3, 6, 9, 12月ですが、議場では年間を通して会議が行われています。1月は総合計画、3月は次年度予算の質疑がありました。

1月 町の総合計画、“ビッグプロジェクト”を町民は理解しているか

町が目指す将来像やそこに向けた指針を網羅する総合計画の内容について、私は1点について **反対** の立場で討論しました。

町民の関心が低い

●開成駅前通り線周辺地区を整備する事業は、1つの事業としては財政的に最も大きな公共事業です。公共事業であるからには、情報が町民に開かれたなかで進めていく必要があります。

情報の少なさから、町民の関心が低いことを指摘するとともに、町長は熱意を持って「このような駅前にしたい」と町民に具体的な説明を行うことを、以前から求めていました。

町民の思いはどこへ

●「駅前通り線周辺一帯のイメージパース(将来像)は最終的に町民の皆さんと決めていく」という令和5年一般質問での町長答弁があり、「オール開成」で進む、町民の希望を盛り込んだ将来像を期待していました。

しかし今は「町民の皆さんの声を聞くというのは、主に駅前の複合施設の建物内部の話」とのことでした。

この半世紀前に計画された一大事業が、現在の町民と町内全域にどのような影響があるのか。どのような駅前一帯を目指しているのか、町民への丁寧な説明が必要です。

総合計画のなかに、事業を進める工事などが記されている一方、町民への説明に繋がるような記載がありませんでした。加えて上記の、内容が翻ったように受け止められる答弁から、反対するに至りました。



3月 町の成長と少子高齢化による過去最高額の令和7年度予算

高齢化社会で医療費などの増加、駅前通り線周辺地区の工事など大型事業もあり、過去最高額の予算額でした。



インターネット利用教育の危険性を捉えるなど、「教育のまち」として差別化を。

●民間保育施設を建てるための補助費として、約1億4千万円計上など、これまでよりも子育て支援事業がほぼ倍増しています。町は利用者数の推移の分析などから、必要な投資としていますが、保育士をふくむ人材不足については他の分野と同じく工夫が必要です。

●情報モラル教育に156万円が計上されています。子どものインターネット利用は、危険や健康問題がつきまといます。ひいては社会の安全のためにも、真剣に向き合う課題です。

福祉・教育の評価が高い北欧では、デジタル機器利用の教育が見直されました。

分かりやすい給付型の支援策に偏らず、堅実に検証や環境づくりを行い、良い教員や専門家を呼び込み、教育の質の向上につながる施策を求めてまいります。

●その他の母子父子・高齢者福祉のほか、近隣市町と連携してバス等の公共交通サービスを求めること、町内を巡る水路の管理について、管理を担う右岸土地改良区への町からの負担金増額や国、県からの補助金獲得に向けて模索することなどについて質疑を行いました。

QRコードはスマホのカメラで写真を撮るように
ピントを合わせ、出てきた文字をクリック。

町のこと、ご自身のお困り事、ご感想…
ご意見をお寄せください ⇒

メール yukishimizu06@gmail.com

電話(支援の会)※紙面にて掲載



お問合せフォーム